

サプライチェーン排出量 算定・活用セミナー



2016年9月14日

株式会社 丸井グループ CSR推進部 戸井田敦子

丸井グループ 概要

会社概要

CSR

マルイミライプロジェクト

スコープ3の取り組み

算定方法

算定結果

取組み内容

成果

共創スコープ3

丸井グループ 概要

会社概要



創 業 1931年

事業内容 小売事業
フィンテック事業

店舗数 関東を中心に、関西、九州など29店舗

カード会員数 613万人



主要指標 (2016年3月期)

- ・グループ総取扱高 1兆7034 億円
- ・当期純利益 17,771 百万円
- ・従業員数 5,899 名

「小売」・「カード」一体の独自のビジネスモデル



1931年 家具の月賦販売として創業、1960年 日本初のクレジットカード発行



(1931年)
創業



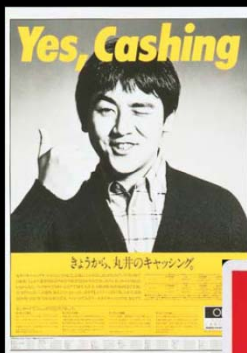
(1985年)
渋谷店



(2007年)
有楽町マルイ



(1960年)
日本初クレジットカード発行



(1981年)
キャッシングを開始



(2006年)
エポスカード

「小売」・「カード」一体のビジネスモデルの進化

革新のDNA



創業期 (1931年~)

第1の革新 (1980年~)

第2の革新 (2007年~)

顧客

ニューファミリー

若者

全年代 (すべての人)

商品

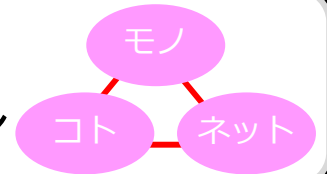
耐久消費財



ファッション



ライフスタイル



カード

月賦販売



キャッシング



ショッピング
クレジット



店舗

月賦店



百貨店



S C



時代と

高度成長期

バブル経済

低成長期

消費者

モノの豊かさ

心の豊かさ・成熟化

小売事業

OIOI

丸井



エムクリエイツ



ムービング



MARUI FACILITIES

マルイファシリティーズ



フィンテック事業

EPOS CARD

エポスカード

MRI
SERVICER

MRI債権回収



EPOS
S.S.I

エポス小額短期保険

OIOI HOME SERVICE

マルイホームサービス



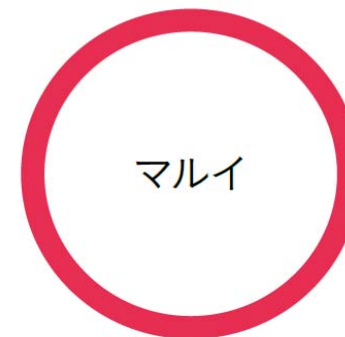
M&C SYSTEMS エムアンドシーシステム



- 本業を通じた社会貢献
- 三方よし
- 共創経営



マルイミライのシンボルマークは、それぞれ「お客さま」「社会」「丸井グループ」を表しています。



これまで

- ・ 循環型ファッション
- ・ 衣料品
- ・ 靴の下取り
- ・ リユース
- ・ リデュース
- ・ 被災地支援



これから

すべての人に楽しんでいただける
商業施設、商品、サービスの提供

→ 2020年の東京オリンピック・
パラリンピックに向けて

マルイミライプロジェクト（全員参加型の活動）



これからの日本の未来と丸井グループの役割をグループ横断で考えるものです。

議論された7つのテーマ

1. 高齢化社会（人口）・障がい者
2. 女性の活躍・育児・少子化
3. 外国人・インバウンド
4. LGBT（性的マイノリティ）
5. 東京オリンピック・パラリンピック
6. 環境・地球温暖化
7. 地域創生

グループ横断
プロジェクト

店舗・事業所
プロジェクト

スコープ 3 の取り組み

スコープ3 算定方法



カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	● 商品原価、外部委託料	● 金額当たり原単位※1
カテゴリ2「資本財」	● 設備投資金額	● 金額当たり原単位※1
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	● エネルギー使用量	● エネルギー別原単位※1,2
カテゴリ4「輸送、配送（上流）」	● 外注輸送金額	● 輸送金額当たり原単位※1
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	● 廃棄物重量	● 重量あたり原単位（リサイクル）※1
カテゴリ6「出張」	● 交通費支給額	● 交通費支給額当たり原単位※1
カテゴリ7「雇用者の通勤」	● 通勤交通費支給額	● 交通費支給額当たり原単位※1
カテゴリ8「リース資産（上流）」	● リース物件の床面積	● 床面積当たり原単位※1
カテゴリ9「輸送、配送（下流）」	● 入店客数 ● 顧客移動距離（商圈）	● 交通手段別人キロ当たり原単位※1
カテゴリ10「販売した製品の加工」	● 該当なし	● 該当なし
カテゴリ11「販売した製品の使用」	● 販売したアパレル商品の種類別重量 ● 年間洗濯回数（オリジナルのシナリオ）	● アパレル商品の洗濯・クリーニングに伴う重量当たり排出量※3
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	● 丸井商品、廃棄カード、包装材の重量	● 素材別重量当たり廃棄物原単位※1
カテゴリ13「リース資産（下流）」	● リース物件の床面積	● 床面積当たり原単位※1
カテゴリ14「フランチャイズ」	● 該当なし	● 該当なし
カテゴリ15「投資」	● 株式保有率	● 投資先の公表CO2量
「その他」	● オプションカテゴリのため除外	

※1 サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（ver.2.1）

※2 カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム基本データベースVer.1.01

※3 カーボンフットプリント製品種別基準（CFP-PCR） 対象製品：ユニフォーム

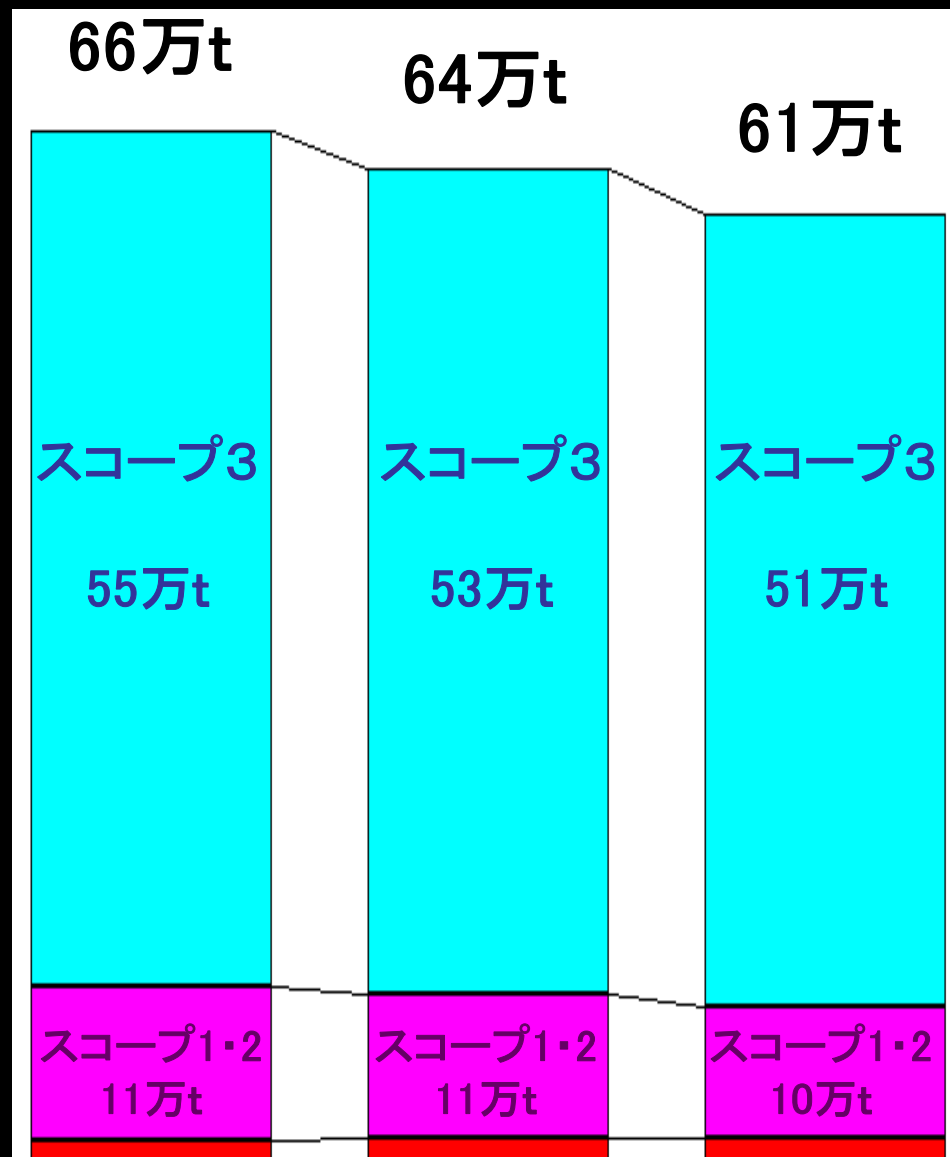
スコープ1・2・3 算定結果

【算定開始】 2013年度実績

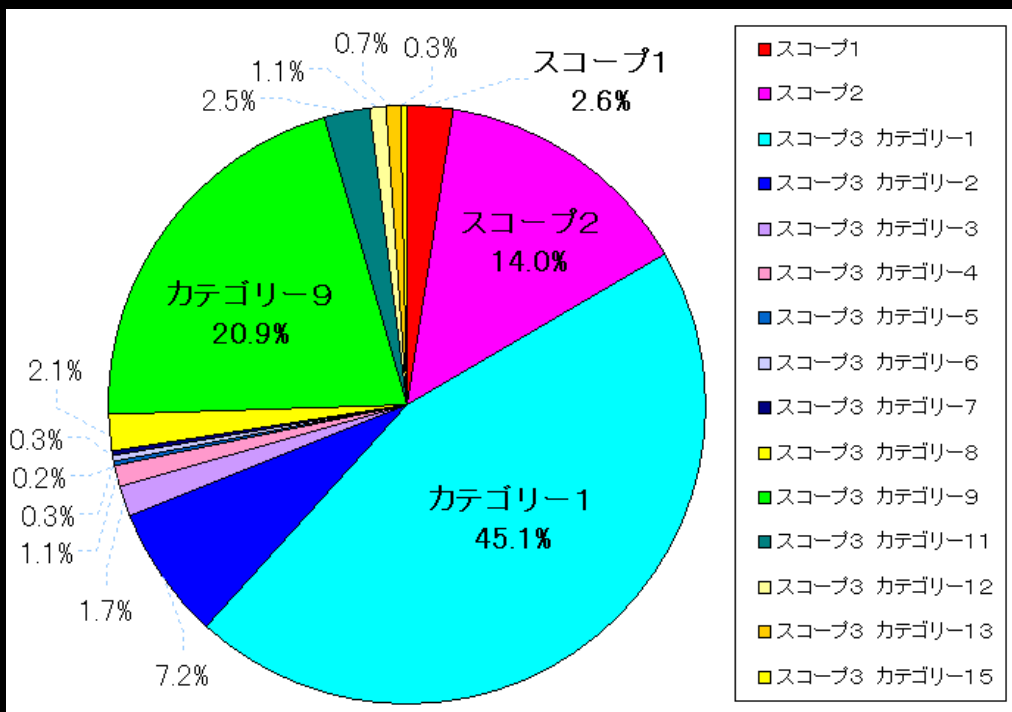
【算定範囲】 丸井グループ各社トータル

【算定部署】 CSR推進部

13年度実績 14年度実績 15年度実績



15年度 実績



初年度 取組み内容

2014年度…実態の把握

【目標】

「全カテゴリー」を「簡易算定」

【実施内容】

① グループ各社担当者説明会

経理、人事、グループ会社関連部署 約70名が参加

※コンサルティング会社より、スコープ3の概要・取組み主旨と必要なデータ等をご説明

② データ収集・算定の簡易化

取り組みの継続性を重視

③ 算定結果の公表

グリーン・バリューチェーンプラットフォーム、CSRレポート



◎ 13カテゴリーを算定（2カテゴリーは該当なし）



- ・ 決算書類、届出数値など既存の数値を使用
- ・ 一部、弊社に即したオリジナルシナリオで算定
ex.カテゴリー9 下流の輸送・流通⇒入店お客さまの移動に伴う排出量
カテゴリー11 販売した製品の使用⇒アパレル製品の洗濯に伴う排出量

▲ データ分析の試行錯誤

- ・ 各部署と連携し、算定範囲や使用数値を取捨選択

▲ 関連部署の業務負担増

- ・ ルーチン業務としてスケジュールへの組み込みを依頼

2015年度…変化の把握

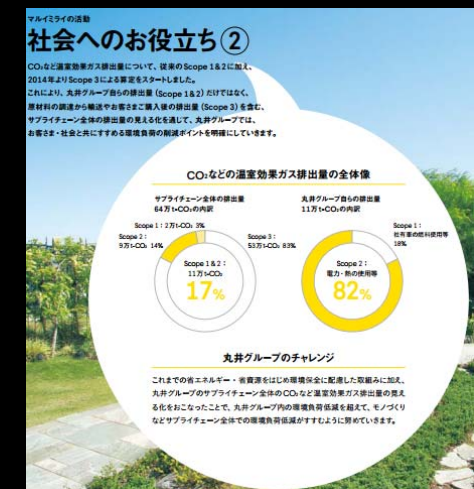
【目標】 フォーマットどおりに算定ができるか検証

【成果】 ・各担当が業務改善、数値精度と業務スピードが向上
・社外から注目
(小売業で全カテゴリー算定)

2016年度…戦略への転換

【目標】 CO2削減に向けた取り組みへ

【成果】 ・経営層への結果報告が定例化
・開示機会に対応 (CDP回答、外部アンケート等)



CSRレポートで
社内外にアピール！

グループ各社各部署とのコミュニケーションツール

各部署のデータとCO2との関連の意外性が関心事となり
他の業務でも連携が推進

本業を通じた環境問題への取り組み

すべての業務をバリューチェーンで考えるきっかけとなり
全従業員でCO2削減に取り組める要素を発見

「財務+非財務」の評価⇒持続可能な企業

財務評価と、環境問題等 社会課題への取り組みによる
非財務の評価により、企業価値を向上

すべてのお客さまの「しあわせ」を共に創る「**共創価値**」経営のもと社会のお役に立てるよう環境負荷の低減も「共創」で実践してまいります

◆お客さまと共に

お客さまのご来店手段、Webやカードの利用など販売チャネルと連動してお客さまと一緒に取り組む

◆お取引先さまと共に

プライベート商品や包装材の発注量、素材の選定も含め、お取引先さまと一緒に取り組む

◆従業員と共に

省エネ、廃棄物の分別など各自の日々の行動や業務を「CO2削減」と紐づけ、新たな視点で全従業員で取り組む

何かありましたらいつでもお問い合わせください
ご清聴ありがとうございました

